

W-note

授業構想シート
授業構想チェックシート
Rシート

実施時期 **令和 4年 9月** 学部 **中学部**
教科 **国語** グループ **D** 指導領域 **書くこと**

実態

- 実態について**
- 個別の教育支援計画を確認（その子どもに必要なこと？） 個別の指導計画で領域を確認
 - 知識を段階化した一覧を実態表として使用し、実態を把握
 - 「できない」ことは問題でなく、つまずきの原因が重要
 - (1) この題材で達成が可能？【可能性】
 - (2) 現在の生活で必要は？【必要性】
 - (3) 将来の豊かな生活につながる価値は？【価値性】

知識及び技能

- H・接続詞の「だから」「なぜなら」の役割がわかり、文章を書く
・はじめ-中-終わりが分かれたシートを使い、それぞれに書く内容を整理することで、構成を考えて文章を書く
G・おすすめの都道府県について友だちに文章で伝える時、必要な情報を収集して書く
・「はじめに」など順序を示す語句や「なぜなら」など理由を示す語句を使い文章を書く
共通 はじめ-中-終わりで構成して文章を書く時、自分が伝えたいことが読み手に伝わりやすくなることわかる

思考力・判断力・表現力等

- H・日記を書く時、テーマや問われ方が変わると、1つの段落で事実のみの文章を書くことがある（日記など）
・おすすめの都道府県について、友だちに説明する文章を書く時、「雪があるから北海道がよい」など抽象的な理由を書く

G・テーマや問われ方が変わっても、はじめ-中-終わりの構成で文章を書くことができる

- ・情報を図書やタブレット端末等で収集して文章を書く時、話題の中心とは異なる情報を加えるなど情報量が多くなることある
- ・自分の考えを文章を書いて伝える時に、根拠となる情報を書き加えようとするが、抽象的な内容になることが多い

学びに向かう力・人間性等

- 共通・友だちの書いた文章を見て、よいところを見つける
・確かめる場面で、自分から友だちに言葉をかけて、話し合いをする

学習指導要領の扱う段階の目標と内容

【知識及び技能】
中学部1、2段階:イ(ア) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。

【思考力・判断力・表現力等】

中学部1段階: B書くこと イ 相手に伝わるように事柄の順序に沿って構成を考えること。
中学部2段階: B書くこと イ 書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えること。

【学びに向かう力・人間性等】

言葉のもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

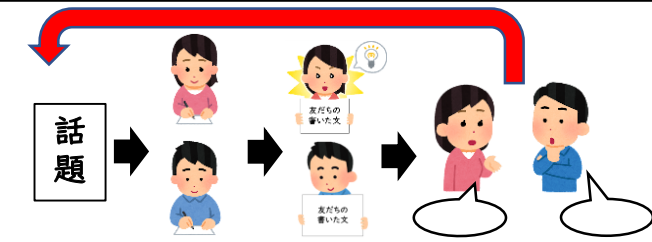
【どうなってほしいかを三つの柱で整理】

【何を学ぶ? (知識)】 【H】文章の内容同士のつながり ・文章構成の仕方、事柄同士の関係 【G】事柄の内容とつながり、文章構成の仕方、情報の精選	【Oと判断できる発言や姿】 【H】事柄を並び替えて、つながりのある文章を書く 【G】考えと根拠にあたる文章を丸で囲んで線でつなぐ ・事柄に小見出しをつける ・必要な情報を付箋に書き出す	【大まかにどう段階化する? (詳細は題材計画で)】 【H】文章の内容同士のつながり→読み手に考えが伝わりやすい文章の構成 【G】事柄の内容→読み手に考えが伝わりやすい文章の構成→場面に応じた情報の精選
【どう学ぶ? (活動)】 【H】文章に小見出しをつける ・話題(事実)について文章を書く 【G】文章の内容の見直し ・話題(事実)について文章を書く	【Oと判断できる発言や姿】 【H】事柄に小見出しをつける ・事柄同士の関係や内容と事柄のつながりのある文章を書く 【G】関係に応じて情報を加えたり減らしたりする ・必要な情報や伝わりやすい構成を考えて文章を書く	【大まかにどう段階化する? (詳細は題材計画で)】 【H】文章の内容同士のつながり→読み手に考えが伝わりやすい文章の構成で書く 【G】事柄の内容→読み手に考えが伝わりやすい文章の構成→場面に応じた情報の精選
【望む姿勢や姿は?】 ・友だちの書いた文章を読み、よいところや改善点を伝えたり、自分の文章の改善に生かしたりしようとする	【どう引き出す?】 ・毎時間、書いた文章を友だち同士で読み合う場面を設定する ・読む時は、構成や事柄同士のつながり、情報の取捨選択などの視点で読む ・学んだことを活用して書いているか確認し、よいところや改善点を該当の色の付箋に書いて友だちに伝える	

【教材は?】 【教材名:】 自分の考えを伝えよう

【仕組み】

- ・話題(事実)について、自分の考えを表す文章を書く
- ・書いた文章を、友だちと読んで発表する活動を通して、書いた内容の伝わり具合や改善点を見つける
- ・話題(事実)は生徒にとって身近なものや社会生活に関わるものなどを幅広く取り入れる
話題の形式は選択肢のあるものから、考えを書くものへ移行する



【全 8 時間をどう使う? (題材計画)】

	【一次】			【二次】			【三次】	
	1	2	3	4	5	6	7	8
H	読み手に自分の考えを伝えるために必要な事柄や情報があり、それらの構成を考えて文章を書くという課題をもつ	文章の内容同士のつながり			文章の内容のまとめ	事柄同士の関係		
G		考えと根拠を表す文章のつながり	内容ごとの文章のまとめとそれとの関係			読み手の知りたい情報の選択		
H			考えと理由のつながりを考えて書く		文章に「話題」「考えとその理由」「結論」の小見出しをつける	はじめに話題(事実)の説明「中」に考えと理由、「終わり」に結論を書く		書く内容と事柄とのつながりを判断して、話題(事実)に対する自分の考えが読み手に伝わる文章を書く
G			考えと根拠など必要な情報の判断	内容と事柄のつながりを考えて文章を書く		相手に応じた情報の取捨選択		必要な情報と伝わりやすい構成を判断して、話題(事実)に対する自分の考えが読み手に伝わる文章を書く
共通	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちからのアドバイスを聞いて、自分の文章を改善しようとする <input checked="" type="checkbox"/> 友だちの書いた文章を読み、よいところや改善点を伝えようとする			<input checked="" type="checkbox"/> 自分の書いた文章を読み返し、文章のつながりを確かめたり、修正したりする <input checked="" type="checkbox"/> 自分の書いた文章を読み返し、考えが読み手に伝わるように文章を再構成しようとする				

【めあて達成のための工夫は? (場面設定・教具・働きかけなど)】

工夫点	色分け付箋の活用	まとめプリントの活用	書いた文章を共有する時間の設定
意図(ポイント)	事実や自分の考え、理由、根拠などを確かめるために色分けした付箋にメモして、それを並べ替えながら構成を考えるようにする	学習内容を蓄積し、課題解決の手がかりとするために、毎時間授業でわかったことや気づいたことなどがあつた場面で、記入するようにする	自分の学習を深めるために友だちと書いた文章を読み合い、考えが伝わっているか確かめるようにする

【1時間をどう展開する?】

学習活動	意図と働きかけ(主発問・認め・タイミングなど)	【板書・配置・教具など】
前時を振り返り、本時への見直しをもつ	○前時までの学習内容やわかったことを振り返るために、「まとめプリント」や取り組んだ課題を見て、発表することを知らせる ○本時の学習活動等がわかるように、本時のめあてを黒板に示して読み上げるように促す	【黒板】 個別のめあてや活動、これまでの学習で共通する知識及び技能に関する内容を書き表す H E F L G
考えを相手に伝えるために必要な知識や技能の習得する	○事柄同士の関係や必要な情報などがわかるように、個々の課題に取り組むようにする ○学習内容をまとめ、『自分の考えを伝えよう!』で活用できるように、わかったことや気づいたことを「まとめプリント」に記入する時間を設ける ○文章を書くことができるように、めあてを意識して取り組むことや、わかったことなどをまとめることができたことを認める	【長机】 付箋(5色)や『まとめプリント』、国語辞典、タブレット端末、パソコン、話題(事実に関する)本などを用意する
話題(事実)に対する自分の考えが伝わる文章を書き、共有する	○文章構成や事柄同士のつながり、必要な情報の選択など、学習内容を活用しながら書くことができるように、「まとめプリント」やこれまで取り組んだ課題を参考に促す ○学習内容を活用して文章を書くことができたことを認める	【改善】 ○話題(事実)の精選 指導内容から、取り上げる話題(事実)を題材開始前までに8時間分、計画する ○視点ごとに友だちの文章を確かめるための工夫 視点ごとに確かめることができるチェックリストなどの教具を用意する
本時を振り返り、次時への見直しをもつ	○めあての達成度を確認したり、学習内容を深めたりするために、本時でしたことやわかったことを「まとめプリント」に記入することを知らせる ○学習したことの達成感を味わい、次時への学習意欲をもてるように、わかったことを発表したり、めあてを意識して取り組んでまとめができていたことを認めたりする	

【評価】

開始時の姿(実態・課題)	指導・支援	結果
H: 抽象的な理由を書く 場面が変わると1段落で書く	・事柄ごとに色分け付箋に抽出 ・筆者の立場から ・理由を考えて記述、事柄に小見出しつけ、並び替え	『離れた人に自分の様子を伝える方法』という話題で、電話は話すことができ、声が聞けるなど具体的な理由を書いた。また、伝わりやすい構成を考えて、はじめ-中-終わりで書くことができた
G: 考えと理由のみの文を書く 情報量が多い	・例文の比較 ・考えと根拠を丸で囲んでつなげる、 ・様々な立場からの情報の取捨選択(例文の見直し)	『災害時の備え』という話題で、1日に必要な水の量を根拠に考えを伝える文を書いた。また、話題を共有した相手に伝えるため、話題の説明に関する事柄を省いて文章を書くことができた

実践のポイント

【話題(事実)の取り上げ方】

OHLの場合
 題材の前半:生徒がイメージしやすい2択の話題(事実)
 (例)学校の昼食は給食、弁当どちらがよいか
 題材の後半:ニュースなどで取り上げられる話題(事実)
 (例)SDGs、セルフレジの導入の是非など

選択肢のある話題で、文章同士のつながりや内容の具体性に目が向くようにしたり、書くことで考えやその理由が伝わる経験をしたりする。すると、題材後半のはじめて直面する話題でも、学んだことを生かしながら、意欲的に取り組むことができます。

【学びを共有する場面を設定】

○場面の設定
 導入:前時の学習内容や成果、わかったことを共有する(全員)
 展開:課題に対する答えや、考え方を取り組んだプリントをもとに言語化しながら共有する(指導内容ごと)
 発展:話題(事実)に対して文章を読み合い共有する(指導内容ごと)
 終末:本時の学習内容や成果、わかったことを共有する(全員)

書く場面は個人で取り組むこととなりますが、共有場面を多く設定することで、友だちと学び合う姿が増えます。また、一体感のある学習グループへ!

【学びの蓄積と自分で課題解決に向かうための工夫】

○『まともプリント』の活用
 毎時間、『まともプリント』を用意して、わかったことや、気づいたことをまとめることができるようにする。また、課題解決場面で、参考にできるように“まともプリント”で学習を振り返ることを日常的に促す

○タブレット端末や辞書、話題に関する図書などの用意
 話題について知りたい情報を得たり、言葉の意味を調べたりするために、教室の後方に設置する。時間内は自由に手に取ることができるようにする。

「教えてください」や「難しいな」と言っていた生徒が自分から過去の学びを振り返ったり、必要な情報を収集したりすることができるようになります!

働きかけについて(HOW TO)
自ら考え、判断して行動する手助けをするためのもの
活動「開始時」「途中」「つまずき」「終了時」を想定
誘い、示範例示、助言、説明、問いかけ、盛り上げ、賞賛、励まし、認め、意味づけなどを行う
子どもに合わせた伝わりやすいことばや提示
抑揚や身振り、表情、子どもの好きなものなど工夫
つまずきに対して答えでなく段階的な働きかけ
課題遂行につながる効果的なことばかけ
何がよかったかわかるよう即時評価
よさや価値を伝えられる認め
働きかけを段階的に減らしていく工夫

① 9/5 欠:なし	【うまくいかなかったこと】 ・題材のゴールの示し方	⑤ 9/16 欠:なし	【うまくいかなかったこと】 ・展開場面の話題と考え、理由の明確な区別ができていない(Hの展開場面の問題) →文章の構成や内容の再検討
【うまくいったこと】 ・自分の好きなものではない話題について、自分の考えを書くという教材で、「意外と伝わらない」という発言が聞かれた	・話題の選択 →5人がそれぞれ異なる内容の方がよい →話題は読み取りやすいものがよい(本来の指導内容とずれないため)	【うまくいったこと】 ・1時間の中で書く(思・判・表)場面のみを設けることで1~4時間目の学習内容の定着が図れた(EFG) ・色分け付箋に、事柄ごとに整理すると文章のする時にも整理しやすい(E)	【気づいたこと】 ・書く時間と共有する時間の配分を調整
主・対で深い学びの実現に向けた改善 ・個々のめあてを伝える ・まともプリントの活用の仕方を確かめる		主・対で深い学びの実現に向けた改善 ・書いた文章の共有場面では、友だちの文章を読む時の読む視点を示したり、注目する点に気づくような働きかけをする→よいところや改善点を具体的に伝えられる	
② 9/7 欠:F	【うまくいかなかったこと】	⑥ 9/26 欠:なし	【うまくいかなかったこと】 ・過度な情報の取捨選択が、伝わりにくくなることに気づく働きかけができなかった(EFG)
【うまくいったこと】 ・根拠という言葉の意味を知ってから文を読むことで根拠を示す内容に目が向いた(EG) ・色分け付箋にそれぞれの内容を書き出すと、整理しやすいという言葉が聞かれた(HL)		【うまくいったこと】 ・事柄の情報量が少ないものから多いものに段階化することで並び替えがスムーズにできた(HL) ・自分を主体として情報の取捨選択を考えと判断しやすい(EFG)	【気づいたこと】 ・共有場面では、はじめにこれまで学習した視点で確かめ、次に視点以外の内容を共有する(優先順位づけ)
【気づいたこと】 ・“根拠=数値”だけにならないように、例文の種類を増やす		主・対で深い学びの実現に向けた改善 ・はじめに示す情報を制限し、必要な情報をより具体的に判断できるようにする→その後、友だち同士で取捨選択の理由を共有する(EFG)	
主・対で深い学びの実現に向けた改善		⑦ 9/28 欠:なし	【うまくいかなかったこと】 時間配分 発展の共有の時間を長く設定
【うまくいったこと】 ・展開場面で考えと根拠をつなぎ、発展場面で話題に対する考えと理由を書くことで、展開場面を振り返りながら、書く姿が見られた(G)	【うまくいかなかったこと】 ・「筆者の立場で」理由を書く場面では、話題に対して事前に情報を知っておく必要があった(HL)	【うまくいったこと】 ・ニュースなどで取り上げられる話題にすると、タブレット端末を活用して情報を収集した(F・G)	【気づいたこと】 ・授業前に話題を知らないと考えが書けない...本人談(E) ・原稿用紙の使い方は、大まかにはクリア(全員)
【気づいたこと】 ・筆者の立場で考えを書くために、課題意識をもつような働きかけが必要 ・考え、根拠、結論のつながりがわかるような教具を用意(E)		主・対で深い学びの実現に向けた改善 ・次時は、共有時間を増やす ・友だちの文章を読む視点を明確化	
主・対で深い学びの実現に向けた改善 ・同じ話題で、立場が同じ場面と異なる場面を用意する(HL)		⑧ 9/29 欠:なし	【うまくいかなかったこと】
④ 9/14 欠:なし	【うまくいかなかったこと】 ・展開場面の問題数が多く、発展場面で、共有する時間が確保できなかった。また、時間内に書き終えることができない生徒もいた →展開場面の問題の精選	【うまくいったこと】 ・書く時間と共有の時間の配分(共有は10分でよかった) ・授業前日に次の時間に取り上げる話題について大まかに説明した(E)	【気づいたこと】 ・定着を図るためには、日常的に具体的な理由や根拠を含む文章を書く(聞く・話す・読む)場面を設定する必要がある。 →次題材で、聞くこと・話すことに取り組む(討論形式)
【うまくいったこと】 ・1時間の中で書く(思・判・表)場面のみを設けることで1~4時間目の学習内容の定着が図れた(HL) ・数種類の文の小見出しをつけることで共通点を見出せた(EFG)		主・対で深い学びの実現に向けた改善 ・	
【気づいたこと】 ・共通点を見出したことで発展場面でも活用できていた(EFG)			
主・対で深い学びの実現に向けた改善 ・指導内容が大きく2つに分かれるため、それぞれのグループで共有した。全体で共有する場面が少ないため設定する			

- ### 題材目標について
- それぞれの子どもを目標を個別化する
 - 授業の評価・改善ができるよう、題材の最後の姿(到達像)の具体化する
 - 身につけたいことを焦点化する
 - 前単元や題材、または、日常生活で意欲的に取り組めた工夫を活用
例:教材の仕組み、学習環境の工夫など
- ### 教材について
- 子どもに身につけてほしい知識及び技能、生活に生かせるような思考力・判断力・表現力をその教材で習得・育成できる?
 - 必要性を感じ、課題をもてる?
 - 主体的・対話的な活動は取り入れられる?
 - 絵、写真、ビデオなど具体物を使用するなどの工夫ができる?
 - 子どもが自分でルールを決めたり、役割を設定したりできる?
 - 子どもにとっての強化子はある?
- ### 題材計画について
- つまずきの原因分析から、できること・わかることが段階化されている?
 - 子どもの学び取りの傾向から課題の引き受けや実施方法が検討・工夫されている?
 - 全体の計画と個別の計画がわかるようになっている?
- ### 【一次】
- 仕組みを理解したり、楽しさを感じたりできる?
 - 活動の意味やよさが十分理解できる?
- ### 【二次】
- 二次は確実な知識の習得
 - 子どもに到達してほしい頭の使い方がぶれていない?
 - 負荷がかかりすぎていない?
 - 支援が減る、問題の難易度が高まるなどしている?
 - 友だちと一緒に学ぶ場が計画されている?
 - 自分で考えた仕方や解決方法を生かせる仕組み?
- ### 【三次】
- できるようになったことを生かす場は設定されている?
- ### 学習環境について
- 活動の流れや量、しやすさを考えた道具材料の配置?
 - 不要な刺激は排除している?
 - 仕方や手順がわかりやすく伝えられる?
 - 成果が見てわかる?
 - 自分で仕方や手順を確かめられる?
 - 教具は、思考(わかる)を補助できる?
 - 教具は一人で使えるようになる?
 - 期待感(してみたい!)をもてる?
- ### 学習活動について
- 導入は課題理解、興味関心
 - 展開は知識習得のため、教具の理解や操作が適切?
 - 発展は定着、応用、工夫できる?
 - 終末は自己評価と次時への意欲
 - 目的や意味、よさがわかる?
 - 何をどのくらいどのようにするかわかる?
 - 課題は段階的に高まっている?
 - 間違いに気づいてやり直せる仕組み?
 - 学習の結果と目的が繋がって達成感がもてる?
- ### 評価について
- めあてと指導はつながってる?
 - 文・文法はわかりやすい?伝わる?
 - 不適切な表現はない?(難しい、できないなど)